

市内58カ所の放射線量率一覧表(保育園・幼稚園・小中学校・高校・公園など)

毎月第2・第4火曜日と同週の木曜日に測定している市内58カ所の放射線量率について、前回との比較ができるよう掲載しています。また、除染状況や取り組み、数字の意味なども随時お知らせします。

※11月13日から、新たに二池の測定を始めました。

(単位:マイクロシーベルト/時)

施設名	測定日		測定の高さ	施設名	測定日		測定の高さ
	11/13・15	11/27・29			11/13・15	11/27・29	
保育園	中央保育園	0.100	0.114	中学校	牛久第一中学校	0.145	0.147
	上町保育園	0.151	0.157		牛久第二中学校	0.163	0.157
	つつじが丘保育園	0.096	0.108		牛久第三中学校	0.116	0.120
	向原保育園	0.100	0.090		下根中学校	0.133	0.139
	栄町保育園	0.135	0.137		牛久南中学校	0.139	0.116
	下根保育園	0.151	0.145		牛久高校	0.141	0.151
	つばめ保育園	0.110	0.114	高校	東洋大学附属牛久高校	0.143	0.157
	つばめ保育園牛久駅前分園	0.110	0.114		牛久栄進高校	0.118	0.116
	ふたばランド保育園	0.122	0.141		その他	こども発達支援センターのぞみ園	0.141
	つつじが丘ふたばランド保育園	0.092	0.100	神谷小さくら台児童クラブ		0.172	0.178
	牛久保育園	0.123	0.118	教育センターきぼうの広場		0.174	0.171
	牛久ひかり保育園	0.171	0.155	すすく広場		0.106	0.106
	牛久ふれあい保育園分園	0.151	0.157	牛久クリーンセンター		0.200	0.165
	ひたち野うしく保育園つくしんぼ	0.078	0.080	牛久自然観察の森	0.165	0.194	
	幼稚園	第二幼稚園	0.133	0.151	二池	0.204	0.208
かわい幼稚園		0.151	0.137	公園	ひたち野みずべ公園	0.212	0.202
牛久幼稚園		0.122	0.129		ひたち野さくら公園	0.092	0.090
ひたち野牛久幼稚園		0.137	0.129		ひたち野おやま公園	0.067	0.065
こぼと幼稚園		0.100	0.100		刈谷第1街区公園	0.139	0.149
フレンド幼稚園		0.094	0.086		本町第1街区公園	0.149	0.151
牛久文化幼稚園		0.112	0.120		田宮東街区公園	0.078	0.090
牛久教会こどものいえ幼稚園		0.090	0.088		みどり野第1街区公園	0.086	0.100
小学校	牛久小学校	0.157	0.155		小坂第1街区公園	0.080	0.082
	岡田小学校	0.123	0.133		柏田第2街区公園	0.073	0.067
	奥野小学校	0.133	0.133		栄町第1街区公園	0.067	0.069
	牛久第二小学校	0.178	0.206		牛久運動公園	0.139	0.139
	中根小学校・第一幼稚園	0.127	0.137		牛久運動広場	0.129	0.141
	向台小学校・牛久ふれあい保育園	0.135	0.122		奥野運動広場	0.163	0.167
	神谷小学校	0.114	0.118				
	ひたち野うしく小学校	0.151	0.139				

※測定器:エネルギー補償型ガンマ線用シンチレーションサーベイメータ TCS-172B (日立アロカメディカル(株))を使用。
 ※測定の高さ:小学生以下の子どもが多く利用する施設は地上0.5m、その他施設は地上1mの高さで測定しています。

■追加被ばく線量の低下のために…

市は「年間1ミリシーベルト以下=毎時0.23マイクロシーベルト以下」を目指します。

●放射線の基礎 [第11回] 「放射線防護の3原則」

放射線による被ばくから身を守る方法には「防護3原則」があります。

それは、①放射性物質から距離を取る

②被ばくする時間を短くする

③放射性物質を遮蔽する

の3点です。①は、1カ所に集積(ホットスポット)した放射性物質から距離を取ることで、放射性物質が出す放射線の強さは距離の2乗に反比例し、減衰します。距離が2倍になれば影響は4分の1、4倍になれば16分の1になりますので、少しでも遠ざかることが重要です。②は、高空間線量の場所にはできるだけ近づかない、かつ短時間にとどめることで、被ばくを最小限にすることができます。③は、放射性物質を遮蔽してしまえば、被ばくはほとんどなくなります。除染する方法として実施されているのが、土をかぶせる覆土方法です。原子力災害対策本部による実験では、30cmの覆土で放射線が98%低減するとの遮蔽効果が出ています。

次回は放射線の基礎「放射性物質の半減期」です。

問 放射能対策室(環境政策課内) ☎内線1568、1569